



敦煌莫高窟の壁画修復風景 (写真提供/敦煌研究院)

シルクロード 古代壁画の 保存と活用



国際シンポジウム

日時：2019年3月3日(日)
11:30開場
12:00~16:00

会場：東京国立博物館
平成館大講堂

- ◇西門からお入りください (裏面地図参照)
- ◇東京都台東区上野公園13-9
- ◇JR上野駅下車 (公園口徒歩10分)
- ◇JR鶯谷駅下車 (南口徒歩10分)

主催：文化庁、東京藝術大学

入場無料・要事前申込

申込方法は裏面をご覧ください



上 樹脂による壁画の剥落止め (写真提供/青木繁夫)

下 敦煌莫高窟の保存管理システム (写真提供/敦煌研究院)

【開催趣旨】

日本は、仏教伝来の道でもあるシルクロード上に点在する敦煌壁画などに大きな関心を寄せてきました。バーミヤーン大仏の爆破以降、その保存を目的とした共同研究や、自然災害・紛争などによって破壊の危機に瀕した壁画の修復を行う専門家を育成する国際協力を実施してきました。

この国際シンポジウムでは、壁画の保存と活用をテーマに、日本・中国・英国の専門家が講演とディスカッションを行います。シンポジウムを通じて、人類の共有財産である壁画の保存と活用の重要性について、皆様と一緒に考えていきます。

【プログラム】 11:30開場 12:00~16:00 同時通訳：日⇄英

◇開会挨拶：文化庁・東京藝術大学

◇「壁画の普遍性と多様性」青柳正規（東京藝術大学特任教授/東京大学名誉教授）

◇「我々は正しいことをしているのか？ ~壁画保存モデルを再考する~」

Stephen Rickerby（イギリス・壁画修復専門家・元コートールド美術研究所所属）

◇「敦煌莫高窟壁画の保存と賢明な利活用に向けて」蘇伯民（中国・敦煌研究院保存研究所長）

◇「我が国の壁画の保存と活用 -高松塚古墳・キトラ古墳を中心に-」

宇田川滋正（文化庁文化資源活用課古墳壁画対策調査官）

◇ディスカッション

モデレーター：青木繁夫

パネリスト：青柳正規、Stephen Rickerby、蘇伯民、宇田川滋正

※演題、講師、講演内容、講演時間は予告なく一部変更になる場合がございます。
※本イベントの録音、撮影はお断りさせていただきます。

【申込方法・お問い合わせ】

下記ウェブサイトよりお申込みください。ウェブサイトには下のQRコードからもアクセスできます。

<https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/hekigasympo/>



◇申込締切：2019年2月20日まで
（定員300名、定員になり次第締切）

◇申込に関するお問い合わせ：

東武トップツアーズ株式会社
東京国際事業部

TEL 03-5348-3500

hekigasympo@tobutoptours.co.jp

◇内容に関するお問い合わせ：

東京藝術大学社会連携センター
（ユーラシア文化交流センター）

hekiga2019@gmail.com

